

子ども達に体験の場を

子ども達は野外活動や体験学習から、塾や学校の中だけでは学べない多くの貴重な経験をします。千葉県青少年団体連絡協議会の丸山一郎会長に野外体験の場としての千葉県少年自然の家に期待することを伺いました。



少子高齢化と情報社会の時代の今、子ども達を導くべき大人達は“自分自身の育った時代環境との大きな違い”に戸惑いを感じている方も多いのではないかと思います。

昔からよく「子どもは親(大人)の背を見て育つ」と言われておりますが、全くその通りだと思います。公園・映画館以外には野原や林、家庭でもラジオ・テレビ位しかない時代に育った大人達の時代と比べると、現在の社会環境は情報や生活環境が大きく変わり又、日々変化しています。現代の子どもは有り余る情報の中で、学校と塾に追われ暗中模索の状態ではないのではないのでしょうか。



青団協加盟団体は社会教育活動として、青少年に出来るだけ多くの体験が出来るよう、各団体が街中だけでなく、海・山等での色々なプ

ログラムを準備しています。子どもは本来外で元気よく仲間と遊ぶべきです。子ども達に必要なのは、遊びの中にもルールがあることを学び、異年齢集団での遊びを通して仲間同士の連帯を深め、助けあう事を実体験することではないでしょうか。仲間との野外活動や体験学習を経験する事により、学校や塾では出来ない「小さな社会(グループ)」での協調性・助け合いを経験・学ぶ事が出来ます。長い人生は独りでは生きていけません。社会生活に必要な協調性は青少年時代に体験すべきです。その経験は社会へ出て、大きな役割を果たす事になります。



青少年団体が集団活動や体験学習の実践の場として利用している「千葉県少年自然の家」は色々なプログラム準備し、青少年に体験の場を提供しサポートをしています。子ども達の新たな試み・体験場所だけではなく、大人にとっても未知の体験が出来る施設です。大人と子どもが共に楽しみながら、新たな体験・発見を実現出来る施設です。新たな体験の場を、皆さん大いに利用しましょう。

人間関係講座 ~教育の再生 人間にとって大事なこと~

2月3日、「人間関係講座～教育の再生 人間にとって大事なこと～」が開催されました。今回は千葉大学環境健康フィールド科学センター教授徳山郁夫氏を招き、教職員や少年団体の指導者ら33名が参加しました。本講座では、指導者のリーダーシップのあり方が提議され、教育の本質である人間関係を培うワークショップを体験し、学んでいきました。ワークショップは、プロジェクトアドベンチャーの手法を取り入れたゲーム・アクティビティ等を次々に行い、その都度ふり返りをしながら、気づきや感想を全員に言葉で伝え合いました。以下は、講座修了後に記入されたアンケートの抜粋です。参加者の率直な声を読んでいただき、ワーク



ショップを通じて「答えは自分の体のなかにある」ということを再び発見した、驚きや喜びを感じて頂ければ幸いです。

■コミュニケーションって、実はそれ自体が楽しいアクティビティになっているんだって、と思い出しました。色々な世代・立場の人と楽しく体験ができてよかった。

■大人になっても遊びは楽しいということを身をもって教えてくださいました。

■体を動かしながら体験で感じたことは忘れないと思う。

■講師の「自分の感覚のなかで生きる」という言葉が、胸に残った。私自身の感覚を大切に、子ども達も安心して自分の感覚を持ち、育っていきける環境を作っていきたいと思った。

■教えて頂くというより、遊びつつ学び、気づかせて頂くという感じでした。とても楽しかったです。



ファミリーキャンプ ~自然の家星空探検隊~

2月のファミリーキャンプは、天体観測の楽しさを家族で味わうことをテーマに13家族、41名の参加がありました。

今回は、星の専門家である飯塚礼子さんを講師としてお招きして天体三昧の2日間を過ごしました。

1日目の始めは、参加家族同士の自己紹介を兼ねて交流ゲームを行いました。そして午後からは、飯塚さんから様々な写真や映像を使って星の種類や動き方などについてご説明頂き、楽しく興味を持って学びました。その後、夜に天体観測をするために家族で使用する天体望遠鏡の使い方の練習を行いました。皆さん少々苦戦していましたが、望遠鏡を使ったミニゲームなど熱心に取り組んでいました。



残念なことに日が傾くに連れて空には厚い雲が広がり、夜の天体観測は、断念することになってしまいました。そこで、夜の部は急遽予定を変更し、視聴覚室でプラネタリウムを見たり、予定では見えないはずだった冬の星空について話を聞いたり、室内で望遠鏡を使って星の写真を見るゲームを行いました。最後に冬の星座に関する宿題が出され、翌日のプログラムで発表してもらおうこととなりました。

翌日は、宿題の発表から始まり、どの家族も調べる時間は少なかつたのですが、とても詳しく星について発表しました。最後に家族ごとに2日間の感想を発表してもらいファミリーキャンプを終了しました。実際に星を見ることが出来なかつた皆さん残念がっていました。また、星について知る良い機会だったという感想も同時に頂きました。

